



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

— 主 題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「Values, Extension and Leadership」
「変化をもたらそう」s
「変化を楽しもう」
「心を高めよう」
「ワイズダムの繫りを友情の輪に」
「楽しみを持って 喜びを持って」

Jacob Kristensen (デンマーク)
David Lua (シンガポール)
板村 哲也 (武蔵野多摩)
中村 義春 (十勝)
宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員
会 長 宮崎 善昭
書 記 柴田 伸俊
会 計 秋葉 聡志
直前会長 伏木 康

THE SERVICE CLUB OF YMCA

THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

札幌クラブ

2021年2月

TOF (Time of Fast・タイム・オブ・ファスト) 断食のとき

今月の聖句

平和を実現する人々は、幸いである」その人たちは神の子とよばれる。
マタイによる福音書 5 章 9 節

巻頭言

「核なき世界へ」

秋葉 聡志



昨年10月に批准数が50ヶ国・地域に達し、発効が確定していた「核兵器禁止条約」が、この1月22日に発効となった。この条約は、核兵器を非人道的と明記し、開発や保有、使用を全面的に違法化し、廃絶を目指す初の国際法規である。

アメリカの「核の傘」に入る日本政府は、否定的な立場を崩していないが、住民に身近な地方議会では、政府の方針を転換し条約の推進の先頭に立つよう求める動きが広がっている。

原水協（原水爆禁止日本協議会）が全国各地の被爆者団体などを通じて集計したところによれば、条約が国連で採択された2017年7月以降、今年1月までに意見書を採択したのは、5県議会と516市町村議会で、全国1788自治体の29%に上っている。

道内では、32%にあたる58市町村議会が採択した。このニュースをYMCAの管理監督者に配信したところ、とち帯広 brunch の担当者からすぐに反応があった。

地元の採択率を調べてみたところ、十勝では1市11町1村が意見書を採択しており、実に68%の採択率であることがわかった。十勝は核兵器廃絶の意識が高い地域である。

意見書は、核兵器を「非人道的な兵器」と指摘し、日本政府に対し唯一の戦争被爆国として一刻も早く条約への署名、批准を要求する内容となっている。意見書は地方自治法に基づき、都道府県や市区町村の議会が政府や国会に提出する。法的な拘束力はないが、地方の民意を国政に反映させる重要な手段である。残念ながら、北海道議会、札幌市議会においては、未だ意見書の採択に至っていない。

札幌市は、1992年3月に「札幌市平和都市宣言」を行っている。市のホームページには、「この宣言に基づき、核兵器の廃絶と世界平和の実現について考える機会とするため、様々な普及啓発に関する取り組みを進めている」と謳われているが、看板倒れにならないよう、具体的なアクションが求められている。現在、札幌市では、政府に批准を求める意見書採択に関する陳情について継続審査している段階である。

白石区平和通に一般社団法人北海道被爆者協会が運営する「北海道ノーモア・ヒバクシャ会館」がある。民間の小さな原爆資料展示館で、広島以外ではこだけと言われている。広島まで行かなくても核兵器がもたらす悲惨さを知ることができる。北海道に住んでいるヒバクシャの体験談を聞くこともできる。なぜ、ヒバクシャが北海道に？そこに根深い差別があることも知ることができる。一度出かけてみて、平和を考えるきっかけにしてみたいはいかがだろうか。

「平和を実現する人々は幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。」
マタイによる福音書 5 章 9 節

2001年1月例会

出席報告

在籍会員 8名 例会出席 6名(内1名リモート) メネット 0名

ゲスト 1名(卓話者) ビジター 0名 出席者合計 7名

メーキアツプ 0名

出席率 88%

札幌ワイズメンズクラブ 2021年2月例会

日時：2021年2月16日(火) 18:30~19:30

会場：北海道YMCA101教室

札幌市中央区南11条西11丁目

Tel. 011-561-5217

会費：1,000円

プログラム

- | | | |
|-----------------|---------|-------|
| | 司会 | 柴田 伸俊 |
| ① 開会点鐘 | 札幌クラブ会長 | 宮崎 善昭 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | | 全員 |
| ③ 聖句 | | 小野 健 |
| ④ 会長あいさつ | 会長 | 宮崎 善昭 |
| ⑤ 誕生日 | | なし |
| 結婚記念日 | | なし |
| ⑥ 卓話 | | |

「コロナ禍でつなげる発達支援」

清水里美さん

札幌 YMCA 教育センター
児童デイ「さんかく」スタッフ

- | | | |
|-----------|-----------|------|
| ⑧ 諸報告 | | |
| ⑨ YMCA 報告 | YMCA 担当主事 | 北川佳治 |
| ⑨ 今月の歌 | | |

四季の歌 (春を愛する人は)



- | | | |
|--------|----|-------|
| ⑩ 閉会点鐘 | 会長 | 宮崎 善昭 |
|--------|----|-------|

何故この聖句を？ 北川 佳治

聖書によれば「平和」は、ただ単に戦争がない状態を指している訳ではなく、より積極的に他者との間で、お互いを尊重し、労わって、より良く生きることをめざすという意味を含んでいるようです。

私達が現在掲げている YMCA ブランドコンセプトのキーワードに、「認め合い」、「高め合い」、「善意」、「前向き」、「みつかる。つながる。よくなる。」があります。これらは、正に、この聖句の箇所を物語っており、親近感を覚えている為、今回選定させていただきました。

札幌ワイズメンズクラブ1月例会

日時：2021年1月14日(木) 18:30~19:30

場所：北海道YMCA 103号室

出席者 秋葉、北川、伏木、中田、宮崎

(Zoom) 安田 ゲスト 桂川 (卓話者) 計 7名
新型コロナウイルス感染拡大のため、食事はせず各自持ち帰ることになった。

卓話は、桂川良伸氏(元北海道日中友の会会長)による中国の直近事情「中国は今」というお話であった。多くの日本人にとって近くて遠い国とも言える中国。とんでも本の類でしか中国のことを知らないのが現状といえる。14億とも15億ともいえる人口を抱え60以上の民族が異なる言語を話す国にあっては中央集権的な政治体制でなければ統治できない。約2億人の共産党のリーダーが地方の隅々まで行政体制、思想体制を管理し共産党1党独裁政治を盤石なものにしている。そこで行われている政治、安全保障体制は日本を始めとする自由社会から見れば人権問題だらけで不自由千万あるが、今の中国人にとっては住みやすく安全な自由な社会なのである。我々の常識を超える中国を見直す機会であった。(宮崎記)



前列： 左から、中田、桂川、宮崎
左上：安田 (Zoom) 後列： 左から、秋葉、伏木、北川

対面例会継続について

コロナのまん延防止のため多くのクラブでは、zoomによるリモート例会に切り替え、あるいは、例会そのものを休止しています。

札幌クラブは1月事務会で今後の対応を審議の結、以下の理由で従来の方法(原則対面例会、希望者はgooglemeetでリモート参加)で例会を継続することと致しました。

- ① 札幌ワイズは出席人数が少なく3密は回避できている。ソーシャルディスタンスもきちんと確保されている。
- ② 飲食は休止し、持ち帰り弁当にしてリスクを回避している。
- ② 時短を実施し、例会を1時間程度で収めてリスクを軽減している

会員増強委員会報告 委員長 伊藤幾夫



伊藤幾夫
EMC 事業委員長

第3回「会員増強委員会」が2020年12月2日(水) Zoom会議で開かれました。会員増強事業主任 伊藤 幾夫(東京多摩みなみ)、EMC会員増強事業主任、各部の部長、Change! 2022 推進委員会委員、オブザーバー、等合計 27 が参加し、熱い議論が繰り広げられました。「Change 2022! ニュース No.19」から抜粋させていただきます。

議事①は第2回拡大 EMC 事業委員会の報告、事前に送付した報告書で確認しました。

議事②は「各部でまとめられた会長ヒアリング集計から見てきたもの」と題して、事前に送付したレジュメにそって伊藤委員長が発表。

「なぜ会員増強を目指すのか」のレビューで、

1番目にワイズの現状を「1997～2020 会員数と会員平均年齢の推移」を表にしたものを説明。会員数は減少、平均年齢は増加していることが歴然と見てとれました。

2番目に、今期の会員年代別分布表を提示し、70歳以上が全体 46.7%を占めていることを確認しました。

3番目に、現状のままでいくと「10年後のワイズは存亡の危機もありうる」ことを理解し合いました。

4番目に、「会員が増えない(減る)のは、もっと根本的な問題があるのではないか」という問いかけをしました。これについては、「ワイズの認知度が低い、経費の負担感、活動内容が分かりにくい、魅力に欠ける」などがあげられました。

5番目に、各クラブの2022年末までの会員目標数について、昨年と比べて下方修正したクラブが23クラブ(▲110名)、上方修正したクラブが9クラブ(+32名)、差し引き▲78名となりました。

6番目として、達成目標数の1,246名にするためには、各クラブが202名純増し、各部が新クラブを2クラブ(北海道部は1クラブ)新設することによって、65～78名増員、アニバーサリープレゼントで136～149名増員が必要となります。

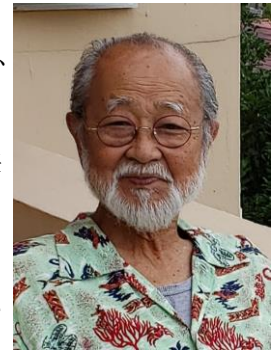
議事③は「コロナ禍にあっても、会員増強が進んでいるクラブ」として、甲府21クラブ(5名入会)野々垣健五さん、石巻広域クラブ(4名入会)。

議事④として「ワイズ法人化の進捗」について。

議事⑤として「各部エクステンションの状況」について報告がありました。具体的な動きとして、甲府クラブ仙洞田安宏さんから、甲府駅北口エリアへの新クラブ設立を準備しているとのこと。また、関東東部では、2021年に入ったら牛久地域への新クラブ設立に向けて協議を始める予定とのこと。

議事⑥ その他として、清水弘一さんから、目標の会員増強を図るためには、思い切った施策(入会金免除、会費割引、YMCA スタッフは割引会費など)が必要との檄が飛ばされ、勇気をもらいました。

シニアワイズメンの独り言 桜井 浩行



東日本区誕生から24年が経ち、この間にリーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルス世界的感染と、様々な災害が続いている昨今、今や従来の価値観ではどうにもならない社会変化が生じています。

四半世紀を期に大改革をしなければワイズは生き残れないかも知れない!という危機感の中、私が個人的に思うことを述べさせていただきます。

『Change! 2020 Action プラン』アンケートの結果と問いに関する私の理解と考えを【 】内に纏めてみました。

問1 会員がワイズに求めるものは?

【奉仕と友好】

問2 今のままでワイズの将来はどうなるのか?

【変革なくしては生き残れないと思う】

問3 ワイズの存続

【ぜひ残したいが、東日本区が基本的に改革しなければならない。各クラブに問題を振らず、区が模範を示さなければ残念な結果になると思う】

問4 将来的に期待するクラブ像

【各クラブの多様化の前に、東日本区が基本を変革する見本を示すことが重要。その後各クラブは各地域の条件に合った姿に自然に動いていくと思う】

問5 ワイズの諸活動、行事にキリスト教の儀式(聖句朗読、祈祷、ワイズソング)が必要と思いますか?

【キリスト教信者だけでなく、ワイズ運動の趣旨に共感して入会した人々の考えや気持ちを尊重することが重要。宗教度について、例えばワイズ活動では25%、YMCAでは50%、教会では100%と捉えてみてはどうか? 聖句朗読や祈祷は省略することに賛成。ワイズソングはクラブのシンボル=テーマソングなので斉唱することは良いと思うが「手を挙げ」の歌詞に合わせて右手を挙げなくても良いと思う。(ナチスを思い起こす違和感・の意見を聞いたことがある) ワイズの良さは定款にある「性別、人種、信仰、出身国などを理由として会員の地位を拒まれることは無い」に尽きるのではないのでしょうか? キリスト教を軸に設立されたワイズメンズクラブですが、信者以外のメンバーが過半数以上を占める現在、新たに入会されるメンバーの多くはキリスト教信者ではなく、YMCAの理念に共感して社会の為に貢献することを期待する人々です。キリスト教以外の信仰を持つ人々、信仰を持たない人、全ての人々の尊厳を尊重する事が重要であると思います。食前の感謝も「お集まりの皆さんの宗教の趣旨に合わせて食前の感謝をいたしましょう」ではいかがでしょうか? 私の場合は「全ての命を頂き生かされていることに感謝いたす、頂きます」です。

(東京むかでワイズメンズクラブのプリテン1月号からお祈しを得て転載させていただきました。「シニアワイズメンの独り言」という題名はこちらで勝手につけさせていただきました。)

1月例会卓話

中国の今

元北海道日中友の会会長 桂川 良伸



中国とどう向き合うべきか。世界が直面している大問題である。米中対立、パンデミックで、この問題は更に突出してきた。私たち日本人は隣人の中国とどのように関るべきか。「中国崩壊論」で賑わったマスコミや論壇

では、最近論調が「中国崩壊論」に取って代わられた。14億の人口、56の少数民族、多様な言語等、複雑多様な中国は、日本の物差しでは計り切れない。マスコミは正に「目くらと象」の様相を呈している。

欧米や日本で、新型コロナウイルス感染者がますます増加している中、中国は感染を基本的に制御し、世界中で唯一経済成長を果たしている。2020年のGDP伸び率は世界的にはマイナス成長だが、中国はプラス1.8%の伸び率で、2021年は8%の成長率を予測され、貿易も大幅に増加している。

リーマンショックの時と同様、中国は世界経済の牽引力になるだろうと予測されている。

中国が早々とコロナ禍を制御できた要因は何か。

第一は中国共産党の統治能力。

一党独裁の強みで、政策決定の早さと下部組織の迅速な対応が可能なのだ。共産党員の数は約9000万人、その青年組織の共団員約7300万人を加えると実に中国の人口の9人に1人が共産党関係者という強固にして巧妙に作られた世界の巨大組織である。

人間の心臓と毛細血管のように、手足の指先まで強力な組織が張り巡らされ、トップと下部組織との意思疎通が割りとスムーズに行われる。

この様な政権と政治組織の力による1千万都市武漢市のロックダウンという、初期段階の断固とした処置が功を奏したといえる。「独裁、強権政治」と非難されるが、不思議と思うだろうが、多くの中国人はこの政権を支持しているのだ。

知識人の中には「必要悪」として肯定する人も増えているようだ。大衆の支持なしではこのような強行措置は取り得ない。

第二は高度なデジタル化。

中国は今や世界一のデジタル大国である。子供から老人まで、殆ど全ての人がスマホを持ち、今やスマホなしでは生活できないと言われている。コロナ禍で、デジタル化の威力は発揮された。

典型的なのはスマホ上の「健康カード」である。「健康カード」には個人の移動経歴や健康状態などの個人情報が登録されている。QRコードに表示すると赤が危険、黄色は濃厚接触、青が安全と色分けされる。公共機関、空港、ホテルその他の施設に入る時はカードの提示が求められる。

このデジタル管理は一般市民も支持していると云われる。中国人はもともと個人情報には日本人ほど神経質ではないようだ。個人情報提供がパンデミック対策や犯罪防止に繋がり、全てがスマホで済むという生活上の便利さが得られるなら、個人情報提供も良しとする、中国人の現実主義的気質の表れと言えよう。

第三は人民の側の自主管理。

独裁政権によるロックダウン等の強権的な措置は、如何に中国といえ、強制力だけでは不可能である。やはり人民の支持や自主管理が無ければ無理である。中国にはコミュニティーが強固に残っている。家族、地域住民等の助け合いや見守りが日常的に行われている。

以前日本の共同体も健全だった。しかし今や家族・地域共同体が磨り潰され、農村の過疎化と大都市のコンクリート砂漠の中で青年、高齢者、母子世帯が孤立状態に置かれている。孤独死、児童虐待、自殺等が絶えない。中国では農村は勿論のこと、大都会でも、他人との接触、助け合い、見守りの習慣がしっかりと残されている。退職後のおせっかい焼きの口うるさなおばさん、爺さん達が町内会を見回っている。このせいか、中国では高齢者の孤独死が極めて少ないという。



住民の買い物を手伝う町内会のボランティア

+ (プラス) 中国人の人生観、価値観

これら三点の要因のほか、中国人の人生観、価値観等を挙げることはできないのではないだろうか。長期の封建的勢力の支配と圧政、特にアヘン戦争以来の欧米や日本の帝国主義の侵略と植民地化の中で培われた愛国心、忍耐強さ、また儒教的な他人に対する関心や思いやりといった人生観が影響しているのではなからうか。今のところ中国は基本的に新型コロナウイルスを制圧に成功したとは云え予断は許されない。最近中国各地で新たな感染患者が確認されている。1月初旬河北省の石家荘市で新感染者が確認され、人口11000万人の大都市がロックダウンされた。上海、北京等でも散発的に新感染者が確認され、即時に強力な措置が取られた。中国もパンデミックとの戦いは、今後とも紆余曲折はあろう。しかし一年の戦いを通じ、中国政府と国民は多くの経験を蓄積し、コロナとの戦いに勝利したという自信と誇りがある。これは今後の闘いに大きな力になるであろう。

科学技術大国

次に特筆すべきは、中国の急速な科学技術の発展である。なぜ中国はこれほど早くアメリカも恐れるほどの科学技術大国になり得たのか。カギは人材育成である。中国は1979年から「改革開放政策」に転換し、早くもその年から海外に留学生を派遣し始めた。当時中国は文革の影響で経済は疲弊し切っていたが、中国政府は戦略的見通しから、海外への留学生派遣に踏み切ったのである。

その後年を追うごとにその数は増加した。2015年中国の海外留学生は126万人に達し、実に世界中の海外留学生の4人に1人が中国人である。今では中国は世界

一の海外留学生派遣国である。2010年代になると中国に帰国する中国人は数を増し、実に帰国率が8割の水準で推移していると云う。帰国した留学生は中国の科学技術発展の原動力になった。



高速道路の出口、QRコードをぶら下げたドローンが飛ぶ。ドライバーはスマホで登録。赤なら恐らくその地区に入ることを拒否されるのだろう



四川省の農村清華村で2020年10月に行われた敬老会。5600人の村民の内、1300人がマスクもせず、三密で食事をしながら、歌や踊りを楽しんだ。10月の国慶節に全国6億3千万人が国内旅行。

中国は今や「爆買い」ならぬ「爆留学」、「爆就職」

日本で学ぶ中国人留学生は、2018年の文部科学省の発表では、114,980人で外国留学生総数の約38%を占め1位である。

近年東大、京大、慶応、早稲田などの名門校で中国留学生が急増している。2019年の時点で、東大約2,400人、早稲田約3,400人、慶応約950人、京大約1,400人。

北大は2015年の837人が2020年には1,258人でいずれも外国人留学生数としては一位である。二位は韓国は128人に過ぎない。

しかも中国人はハングリー精神が強く、成績抜群の学生が圧倒的に多いという。卒業後日本の有名企業に就職する中国人も数を増やしている。中国人と云うとかつては「爆買い」だったが、今や「爆留学」「爆就職」真盛りだ。

コロナ渦後の中国はどうなっていくであろうか。中国は今後10年以内に経済力でアメリカを追い越し、世界一の大国になる可能性は極めて高い。アジアの一員として日本人は、反中でも嫌中でも、いやおうなしにこの世界最大の経済大国と向き合わざるを得ない。その為には多少なりとも、中国の実像を知ることが必要なのではなからうか。



上海浦東空港に勤める1人の男性が感染。男性が住む約6000人の団地が封鎖。空港の1万7人の検査で1人の感染を確認。テントは宅配品、食品等の置き場。通知を受けた住民が引き取りに来る。監視するのは住民。

YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

札幌ワイズメンズクラブ 1月事務会

① YMCA スキースクール好評実施中

年末年始にフッズスノーエリア（札幌市南区藤野）でYMCA スキースクールが行われました。新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、例年の半分以下での実施となりましたが、参加したメンバーはスキーを通して、技術の向上と良い思い出が得られたと思います。

運営面では、ユースボランティアリーダーがスクールのテーマを設定し、メンバーがより良い経験が得られるようサポートしてくれました。初参加のユースリーダーもいましたが、メンバーの為に一生懸命力を発揮してくれました。2月、3月も引き続きスクールを実施していきます。残り枠は限られていますが、関心のある方は是非お問合せください。



② YMCA ピンクシャツデー

今年もピンクシャツデー（いじめ反対運動）を2月の最終水曜日に全国一斉で実施します。

新型コロナウイルス感染症への恐れは、わたしたちの生活に不安をもたらし、心ない偏見や差別を生み出しています。

このようなときだからこそ、いじめの構造に目を向け、一人ひとりが「傍観者にならない」、「自分ではない誰かのために」行動しませんか。

YMCAは、そのようなポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を大切にします。

#YMCAPINK #Stay Safe, Stay Connected
後援：文部科学省

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

日時： 2021年1月26日 19:00~20:00

場所： Googlemeet によるリモート会議

出席者： 秋葉、小野、北川、中田、伏木、宮崎

① 2月例会確認

日程：2月16日（火）18:30~19:30 YMCA

卓話：①さんかくスタッフによる活動報告

or ②アフタースクールスタッフによる活動報告

会費：1,000円 弁当持ち帰り

今月の歌： 担当 中田

① プリテン2月号原稿分担確認

▼ 巻頭言 安田

▼ 今月の言葉 北川

▼ 例会報告 宮崎

▼ 事務会報告 秋葉

② 2月・3月予定確認

1. 2月23日（火） 日本YMCA大会（zoom）

参加申し込みは同盟HP

2. 2月24日（水） ピンクシャツデー

各自の職場で拡散を！

3. 幼稚舎卒園式 3月14日（日）（午前）

専門学校卒業式 3月14日（日）（午後）

ワイズメンズクラブ賞授与の有無を確認する。

4. 室内サッカー大会 中止

ワイズベル杯水泳発表会 中止

③ 2月事務会

定例では2月23日（火）祝日です。オンラインか、対面かは、2月16日、状況を見て決定します。

ピンクシャツデーとは！

2007年、カナダ・ノバスコシア州のハイスクールで一人の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したところ、ホモセクシャルだからかわれ暴行を受けました。それを聞いた友人たちが「いじめなんて、もう、うんざりだ！」「アクションを起こそう！」とディスカウントストアへ行き75枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみ、クラスメートたちに「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と呼びかけました。

翌朝、数百人もの生徒たちがピンクシャツやピンク色のものを身につけて登校してきて、学校はピンク色に染まりました。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。いじめに対して、学生たちは言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がったのでした。

学生たちが起こした行動が地元メディアで取り上げられると、瞬間にカナダ全土へ、世界へと広がっていきました。メディアで彼らのことが紹介された翌日には、アメリカ、イギリス、ノルウェー、スイスから彼らの元へ多数の賞賛や感謝を伝えるメールが届きました。

YMCAは2月の最終水曜日をピンクシャツデーと定めて、何かピンクのものを身につけ、いじめのないコミュニティを作る決意を表明しています。